

観光立国の実現は地方(地域)から

旅行業 4社
トップ座談会

令和新時代のツーリズム

20年の旅行市場を展望

「当社は旅行会社で唯一、GCMJ(グローバル・コンバクト・ネットワーク・ジャパン)という組織に加盟しており、そのSDGs分科会のメンバーとしても活動している。今後もSDGsの観点から事業を行うというのが当社のスタンスだ。」

自然災害については、もはや「ある」という前提で取り組まなければならない。そのような中で私どもは、首都圏外郭放水路を見学するインフラツーリズムに取り組んでいる。先般の豪雨の際は、この放水路が被災に効果的だった。われわれがツアー化することで防災についてさらに意識を深めたり、インフラについてもっと身近に感じたりしてもらいたいと考えている。

高橋 忘れてはならないのが10月の首都圏火災。現地の入だけでなく、われわれにとってもなくてはならないディスプレイであり、復旧・復興支援を業界挙げてやらねばならない。

坂巻 パリのノートルダム寺院の火災のときもツアーを作り、旅行代金の一部をツアーリスムEXPOジャパンの席でパリの関係者にお渡しし

IT化へ対応本格化 五輪レガシー大切に

米田 坂巻



坂巻氏

「動き方改革」にわれわれ旅行業も貢献できることがあるのではないかと。例えば、旅先で仕事をする「ワーケーション」や、出張に合わせて観光をする「フレジャー」。こうしたフレキシブルな動き方を支援できないかと考えている。

先月、JATA(日本旅行業協会)でエストニアに行ったのだが、「デジタルノマド」が進んでいるのを見た。ノマドとは遊牧民のこと。IT機器を駆使して、オフィスだけでなく、さまざまな場所です仕事をする人たちがいる。

ITを活用した仕事と旅の融合。国内だけでなく、世界の人たちがさまざまな場所で働いたり、旅をしたりすること。このような取り組みの支援をできないかと考えている。



米田氏

「今回の首都圏火災についても、業界として取り組まなければならない。」

堀坂 首都圏は現地のの方々にとっても、われわれ旅行会社から見ても、沖縄のシンボルの存在だ。各社それぞれ取り組むにしても、業界挙げての支援は絶対必要だ。当社も旅行代金の一部を寄付金とする。

「新しい年、2020年を迎えた。旅行業界にとってどんな一年になるか。展望、

高橋 東京2020大会の際は、ラグビーW杯と同様に観光で日本に来られた人たちに観光をしようというように仕掛けをしなければならぬ。国が掲げる20年の訪日インバウンド4千万人の目標は、日韓問題の要素が不明瞭であるものの、東京2020大会もあるから、かなり見える問題ではある。かなり見える問題ではある。かなり見える問題ではある。

問題はもう一つの目標の消費額だ。20年に8兆円の目標を掲げているが、まだ5兆円弱(8年)という状況だ。これをどう高めるか。

お客さまの地方分散が不可欠だ。まだまだゴールデンルートに集中している今の状況

では、人数増のスピードも鈍り、それ以上に消費が高まっている。これら情報を使えばいいのかもしれない。

世間ではMaas(マイアス)が注目されているが、われわれはTourism・As(ツアー・アス)を進めるべきだと考えている。

Taasは外国人を地域に呼び込むための強い武器となる。逆に言えば、このような仕組みを作らなければ、お客さまの地方分散はなかなか難しい。

情報は氾濫しすぎて、どの情報を信用すればいいのかわからない。これらの情報をスマホから一元的に、多言語で提供できるのがTaasだ。

Taasは外国人を地域に呼び込むための強い武器となる。逆に言えば、このような仕組みを作らなければ、お客さまの地方分散はなかなか難しい。

「消費拡大へ地方分散
「イン」をビジネスに

高橋 堀坂

地を五輪を「イン」などの言葉も面白いのではないかと。外国人が日本に来たときから、日本の方々にも国内を動いてもらいたい。国内旅行を空白を作らない。

インバウンドの地方分散、消費額の拡大は高橋さんが言われた通り。そして、インバウンドをもっとわれわれ日本人の旅行会社のビジネスにしなければならぬ。JATAの訪日旅行推進委員会の委員長として、痛切に感じる。今回のオリ・パラが、ビジネスに

「10面に続く」

山形の風土をお伝えするお料理

良縁感謝

伝統を現代に

多くの方に愛される心からのおもてなし

露天風呂

一頭買い米沢牛

薬焼(らくやき)

全国屈指の米沢牛。古窯には独自の土質と温度の調節が、だからこれほど可能な味わいの演出があります。

薬焼(らくやき)は各界の著名な方々の人柄、思想、哲学まで伺える世界でたった一枚のお皿です。薬焼絵付け体験も人気です。

四季折々の蔵王連峰の雄姿と、かみのやまの夜景を鳥の眺望しながら見下ろすパノラマビューは圧巻です。

ISO9001 認証取得 登録番号 JQA-QM3298

山形県上山温泉 山形県上山市業山5-20

TEL: (023) 672-5454

〒999-3292 山形県上山市業山5-20
FAX: (023) 672-5459
HP: http://www.koyoga.com/

雪の館

30room OPEN

全室『美人の湯』天然温泉を使用

【お部屋概要】※全室禁煙

露天風呂付和洋室 - 六華 - 4室

半露天風呂付和洋室 26室

お部屋の特徴

令和元年5月にフルリニューアルされた【半露天風呂付和洋室】。全室『美人の湯』とも呼ばれる温泉を利用したお風呂も大きな特徴の一つで、眺めを愉しみながらかみのやまの湯を感じることができます。その他、山形の伝統技術を手にとって感じてもらえるよう、茶器は山形の工芸品を使用しております。